

こども発達さぼーとセンター

放課後等デイサービス 支援プログラム

ア) 健康・生活

a ねらい

- (a) 健康状態の維持・改善
- (b) 生活のリズムや生活習慣の形成
- (c) 基本的生活スキルの獲得

b 支援内容

- (a) 健康状態の維持・改善

健康な心と身体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う

- (b) 生活のリズムや生活習慣の形成

睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食育に努める。さらに病気の予防や安全への配慮を行う。

- (c) 基本的生活スキルの獲得

身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。

イ) 運動・感覚

a ねらい

- (a) 姿勢と運動・動作の向上
- (b) 保有する感覚の総合的な活用

b 支援内容

- (a) 姿勢と運動・動作の向上

日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。

- (b) 保有する感覚の総合的な活用

保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう必要に応じた環境を設定し、遊びを通して支援する。

ウ) 認知・行動

a ねらい

- (a) 認知の発達と行動の習得
- (b) 空間・時間・数等の概念形成の習得
- (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

b 支援内容

- (a) 認知の発達と行動の習得

視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う

(b)空間・時間・数等の概念形成の習得

物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図ることによってそれを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する

(c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等個々の特性に配慮する。またこだわりや偏食等に対する支援を行う。

エ) 言語・コミュニケーション

a ねらい

(a)言語の形成と活用

(b)言語の受容及び表出

(c)コミュニケーションの基礎的能力の向上 b

b 支援内容

(a)言語の形成と活用

具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付ける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う

(b)言語の受容及び表出

話し言葉や各種の文字・記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う

(c)コミュニケーションの基礎的能力の向上

個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーションの向上のため支援を行う

オ) 人間関係・社会性

a ねらい

(a)アタッチメント(愛着行動)の形成

(b)模倣行動の支援

(c)感覚運動遊びから象徴遊びへの支援

(d)ひとり遊びから協同遊びへの支援

b 支援内容

(a)アタッチメント(愛着行動)の形成

人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う

(b)模倣行動の支援

遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する

(c)感覚運動遊びから象徴遊びへの支援

感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。

(d)ひとり遊びから協同遊びへの支援

周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び

- 自己の理解とコントロールのための支援
- 集団への参加への支援